

**項目名** (3) 医療と介護の連携に係る入退院支援ルール<sup>1</sup>の運用

■ **現状（概要）**

○事業目的

急性期・回復期の病院から在宅へ患者が円滑に移行するために、介護保険の適用が考えられる退院患者の情報をもれなく介護支援専門員につなぐことができるシステムの定着を図る。

○事業主体

鹿児島市，日置市，いちき串木野市3市の急性期・回復期を中心とした参加病院と居宅介護支援事業所等

鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

○事業内容

平成26年度に病院から介護支援専門員への確実な引継ぎ実現のため「退院支援ルール」を策定し，平成27年2月から47病院と介護支援専門員で運用を開始。定期的に運用状況の確認・評価や会議を開催し，令和2年12月現在，58病院，240か所の居宅介護支援事業所等が参加。入院時からの情報共有を目指すことから，「入退院支援ルール」に名称を変更し運用。

■ **取組状況（令和2年度）**

○ルール進捗状況評価及び運用に係る医療・介護関係者協議

- ・在宅医療介護連携推進にかかる連絡会 (R2年6月)
- ・運用状況調査の実施 (R2年8月)
- ・介護支援専門員代表者会議コアメンバー会議 (R2年10月)
- ・病院連絡運営会議 (R2年10月)

※介護支援専門員代表者会議，病院連絡会，医療・介護合同会議については中止。

○退院調整漏れの改善状況（介護支援専門員調査結果から）

調査時期	調整漏れの割合（ ）は参加病院
平成26年度(運用前)	31.5% (24.2%)
平成27年度(運用半年)	18.7% (15.9%)
----- (運用1年)	16.8% (15.1%)
平成28年度(運用1年半)	15.9% (13.1%)
----- (運用2年)	13.7% (10.9%)
平成29年度(運用2年半)	7.3% ( 5.3%)
----- (運用3年)	9.6% ( 8.1%)
平成30年度(運用3年半)	18.6% (14.1%)
令和元年度(運用4年半)	10.0% ( 9.4%)
令和2年度(運用5年半)	7.3% ( 7.2%)

※令和元年度以降は，介護支援専門員から病院担当者への退院支援連絡も含めて算出

## ■ 課題

- 1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため会議等が中止となり、運用状況に関する評価の取組や推進について、関係者による協議ができていない。
- 2 医療・介護の各担当の視点の違いにより、患者の入退院に係る情報連携が十分にできず、調整がうまくいかない事例がある。

## ■ 今後の予定

- 1 鹿児島保健医療圏域入退院支援ルールの推進
  - (1) 入退院支援ルールの周知と参加病院の拡充
  - (2) ルール運用における介護支援専門員及び医療機関等による会議の開催
  - (3) 3市と協働した医療介護連携の推進
- 2 鹿児島保健医療圏内の在宅医療介護連携推進事業に係る取組支援

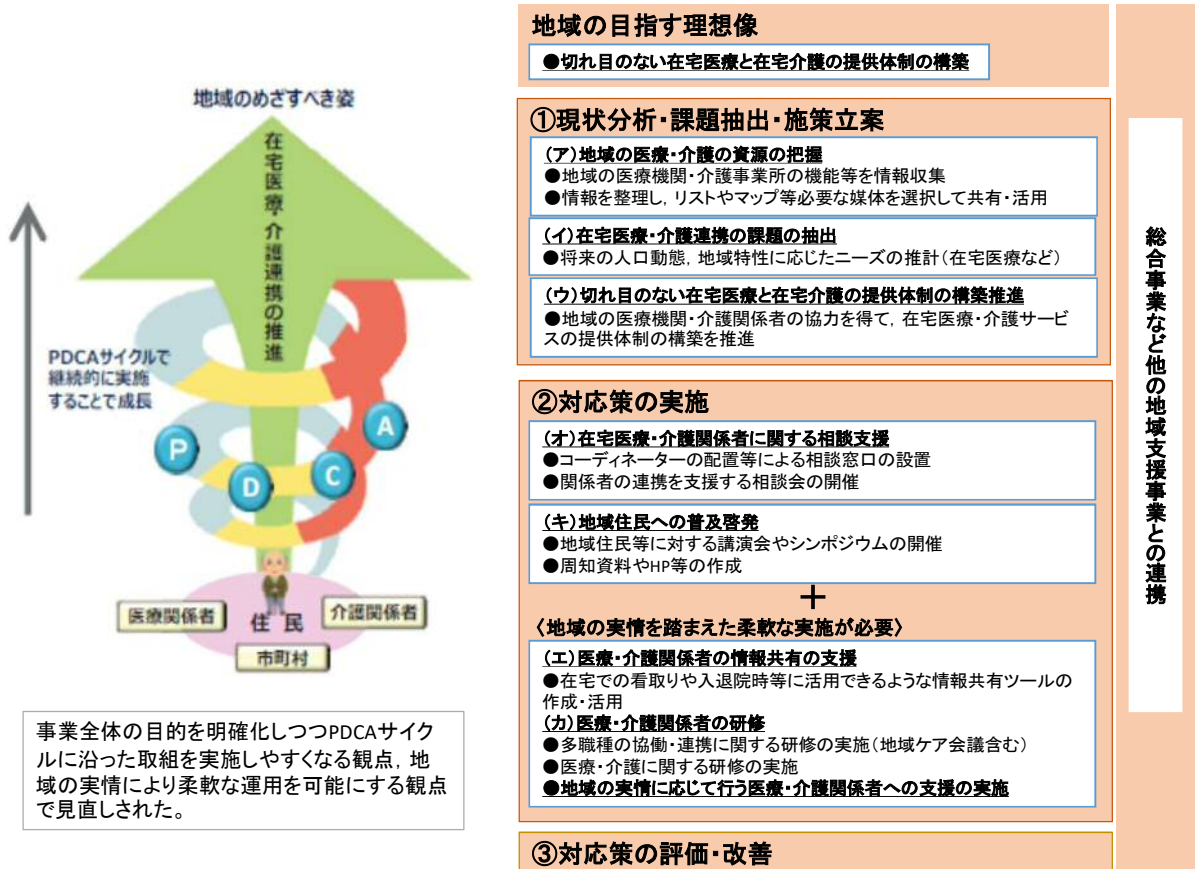
## ■ 依頼事項等

医療や介護の関係団体，行政機関におかれては，入退院支援ルールの効果的な運用に取り組んでいただきますようお願いします。

# 在宅医療と介護連携のイメージ(在宅医療の4場面別にみた連携の推進)



## 「8つの事業項目」から「PDCAに沿った取組」への見直しイメージ



# 鹿児島保健医療圏域入退院支援ルール参加状況



- 病院 **58カ所** [急性期・回復期を中心とした病院等]
  - 居宅介護支援事業所 **191カ所**, グループホーム等 **28カ所**
  - 地域包括支援センター **21カ所** (サブセンター含む) (R2. 12現在)
- \* 圏域内介護支援専門員全員と予防プラン作成者**



## いちき串木野市

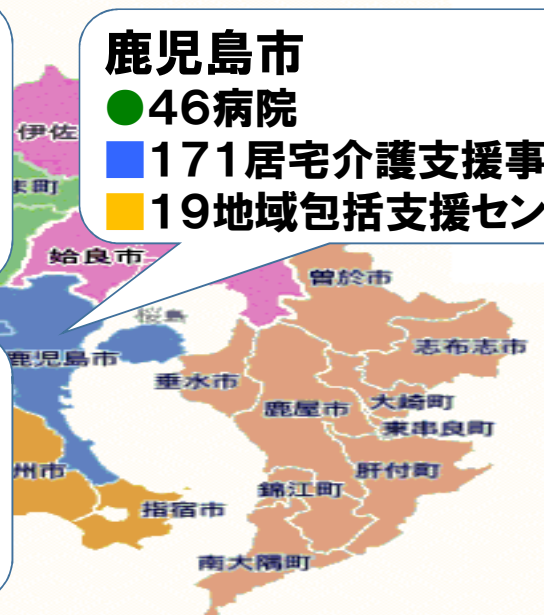
- 6病院
- 7居宅介護支援事業所
- **3小多機, 8グループホーム**
- 1地域包括支援センター

## 鹿児島市

- 46病院
- 171居宅介護支援事業所
- 19地域包括支援センター

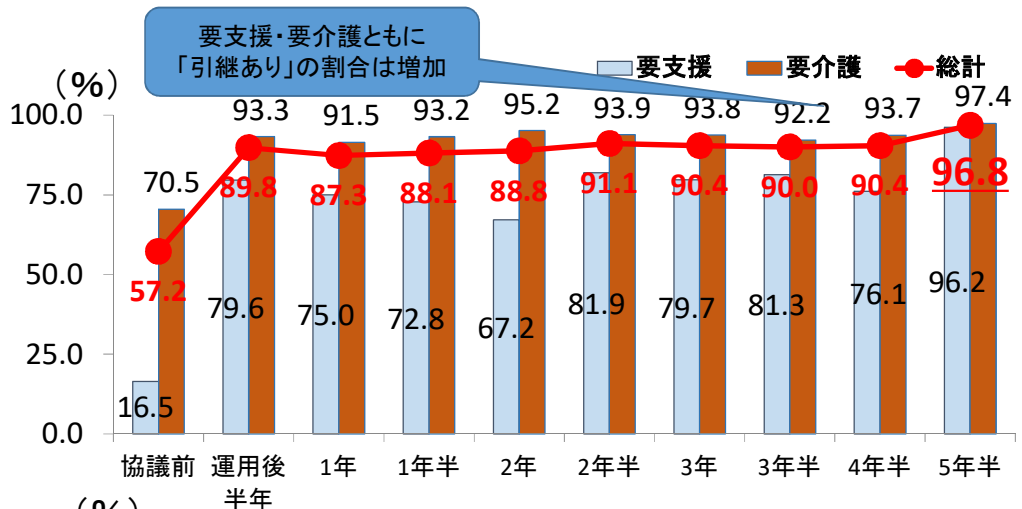
## 日置市

- 6病院
- 13居宅支援事業所
- **4小多機, 13グループホーム**
- 1地域包括支援センター



## 運用状況調査結果 (令和2年8月分)

### 入院時引継ありの変化



### 退院時の引継漏れ率の変化

